

## 日本パーソナリティ心理学会第 79 回常任理事会議事録

日時:平成 18 年 12 月 9 日(土)17:00~20:05

場所:東洋大学白山校舎 5 号館第 5202 教室

出席者:杉山,浮谷,北村,川野,藤田,村井,文野,佐藤,渡邊,荒川

事務局長:加藤

委任:首藤,松田

議長:杉山

### 報告事項および審議事項

#### 1 各種委員会報告

機関誌編集委員会(渡邊委員長)

\* パーソナリティ研究第 15 巻第 2 号(原著 7 本,資料 1 本,ショートレポート 3 本)

種別	題目	著者
原著	大学生における友人関係の類型と,適応および自己の諸側面の発達に関連について	岡田努
原著	対人恐怖傾向と自己愛傾向の共通構造としての自己概念の乖離性および不安定性の検討	川崎直樹,小玉正博
原著	重要他者に対する再確認傾向は抑うつ,不安,自尊心を変化させるのか -抑うつ特殊性仮説の検討	勝谷紀子
原著	対人状況における対人不安の否定的な判断・解釈バイアスと自己注目との関連	守屋順,佐々木淳,丹野義彦
原著	曖昧さへの態度の多次元構造の検討 -曖昧性耐性との比較を通して	西村佐彩子
原著	児童期後期・青年期における自己価値・自己評価を維持する機能の形成過程 -自己愛における評価過敏性,誇大性の関連の変化から	中山留美子
原著	韓国の高校生における抑うつ脆弱要因としての同一性混乱	金 美怜
資料	仮想的有能感と日常の対人関係によって生起する感情経験 -抑うつ感情と敵意感情のレベルと変動性に注目して	小平英志,小塩真司,速水敏彦
展望	社会的望ましさ尺度を用いた社会的望ましさ修正法 -その妥当性と有効性	豊張真稲
ショートレポート	抽象物への関心と知覚反応検査における極端反応	辻本英夫
ショートレポート	幼児の社会的スキルを測定する教師評定と行動観察者評定の関連	岡村寿代,杉山雅彦
ショートレポート	General Procrastination Scale 日本語版の作成の試み -先延ばしを測定するために	林潤一郎

\*平成 18 年 12 月 6 日現在の審査状態

受付済・審査未開始 2本(原著1,資料1)(印刷投稿2)

審査中 37本(原著23,資料7,ショートレポート7)  
(電子投稿24,印刷投稿13)

審査終了 6本(採択5本,不採択1本)

広報委員会(文野委員長)

\*ニューズレターNo.23を発行した。

\*ニューズレターNo.24は4月上旬発行の予定。ミニ特集は「環境移行とパーソナリティ(仮題)」。研究者自身の環境移行(異動など)の体験から、パーソナリティに関する話を綴っていただく。新入会員一覧のページに、退会者の一覧も掲載する。

経済的交流委員会(北村担当常任理事・川野担当委員)

\*川野委員長から、北村担当常任理事への移行が確認された。

\*サイエンスカフェ開催

第1回 約20名(約半数が本学会員)

テーマ:「心理学者が問いかける「非暴力で世界に関わる方法」」

ゲスト:伊藤哲司(茨城大学人文学部)ノックつきを申し受けます。

\*シンポジウム企画中

インターネット運用委員会(荒川委員長)

\*理事・委員の交代

旧委員(継続):荒川歩(新委員長)・松田浩平・松田英子・村上宣寛・鈴木公啓(副委員長)・友野隆成

旧委員(退任):山崎晴美(旧委員長)・中澤清・戸梶 亜紀彦・鈴木裕子・富重健一・野瀬出・笠井敬祐・佐々木淳

新委員:家島明彦(京都大学大学院教育学研究科)・桑村幸恵(愛知学院大学大学院総合政策研究科)・大和田智文(専修大学大学院文学研究科)・山田幸恵(早稲田大学)

\*委員会の開催

決定事項:任期の決定(3年)・業務分担の決定・業務のマニュアル化・サイトを3月か次回大会頃にリニューアル・新規活動(書評・海外の文献紹介・インタビュー・若手の研究紹介)により月に一回の更新を目指す。

\*インターネットでは、新入会員と退会会員は掲載しない。

## 2 新設委員会報告

国際交流委員会(代理として理事長)

\*委員会構成メンバーの構成中

選挙規程委員会(浮谷担当常任理事)

委員は未定

理事や常任理事の人数の改訂も視野に入れている。

常任理事、理事長の選出の検討

任期と引継ぎについての検討

選挙管理委員の選出方法の検討(学会外からの選出も検討)

大会活性化委員会(川野担当常任理事)

\*理事長より提言

学会内に「大会委員会」の設置についての検討が提案された(実務と実働窓口など)。

\*担当理事報告

大会活性化と大会校の負担の問題

役割分担の工夫

既存の委員会が何らかの役割を担うことの検討

機関紙論文賞

懇親会の構成

旧学会大会活性化委員会(村井担当委員)

第15回大会優秀大会発表賞

集計:松田・村井

投票者計18人。

両日とも出席された方の投票:1point,一日のみ出席(or不明の場合):0.5pointとして集計

原案:計5名。以下のとおり選定した。(タイトルについては,論文集原稿のもの)

大和田智文・下斗米淳(5.0),山形伸二・高橋雄介・木島伸彦・安藤寿康(4.0),安井理紗・大坊郁夫(4.0)

松田英子(4.0),松尾由美・赤坂瑠以(3.5)

\*4ポイント:山形伸二・高橋雄介・木島伸彦・安藤寿康 双生児法による因果の方向性の検討

\*5ポイント:大和田智文・下斗米淳 若者における一人称への意味づけに関する検討(2) - 社会的アイデンティティの諸相にみる一人称詞の機能的意味について -

\*3.5ポイント:松尾由美・赤坂瑠以 携帯電話を用いた援助行動の内容の検討

\*4ポイント:安井理紗・大坊郁夫 モノの心理的機能への期待 - 所有物の心理的機能への期待はコミュニケーションの自信につながるか -

\*4ポイント 松田英子 快適夢見睡眠とパーソナリティに関する心理生理学的研究

承認された

\*メールニュースで配信してはどうか(文野)

3 日本心理諸学会連合関係(理事長)

\*事務局のあり方について,理事長の考えを発表した(日本心理諸学会連合には未発送)。

\*12月24日に定例理事会が開催される予定であり,その議題が発表された。

4 臨床発達心理士関係(菅原担当常任理事)

\*11月10日,理事会があり,その内容の報告。参加者は理事長と担当常任理事。

議題

臨床発達心理士におけるスーパーバイザーの資格を設けることを検討。

移行措置として,実務者への資格を認定することの検討。

事務局の設置を検討。

\*資格認定委員の推薦(3名の選出)

5 事務局報告および新入会希望者について

1 機関別認証評価の専門委員推薦の件

本学会からは推薦しないことに決定した。

## 2 会員入会の件

前理事会から引き続いた新入会希望会員 2 名の件  
現行会則に従い、現段階では、両名の入会を認めないことが承認された。

### 10 月新入会希望会員 7 名

山崎洋史氏 澤邊潤氏 原田知佳氏 中山満子氏 上出寛子氏 大友和則氏 柴田由己氏  
以上、追認された。

### 11 月新入会希望会員 10 名

#### 一般会員

鈴木公基氏、くぬぎ本知子氏、榎本好子氏、吉澤寛之氏、市原学氏

#### 院生会員

山内柳子氏、越中康治氏、幸田紗弥華氏、高橋彩氏、脇本竜太郎氏

以上承認された

#### 再入会希望者

会費未納に伴う自動退会の再入会審査について

\* 会費未納に伴う退会者に関しては、入会審査なし、会費未納金 2 年間が入金後、複会でき、その際、事務局が常任理事会に報告することで承認された。

## 3 会勢報告 733 名

一般会員 504 名、院生会員 218 名、学生会員 5 名、名誉会員 5 名、賛助会員 1 名

## 4 宛先不明会員 8 名

## 5 2 年間会費滞納会員 34 名

## 6 会員名簿の進行状況(報告)

11 月原稿入校、現在、再終校のチェック。12 月 10 日、17 日の週に、会員名簿完成予定。12 月中に会員に配送予定。

## 6 その他

なし。

次回の常任理事会は 2007 年 2 月 24 日を予定